



## 吉祥寺事業所が12月より新しくなります!!



- ★定員が40名になります。
- ★プログラムの内容が変更になります。  
⇒詳細は裏面をご覧ください!
- ★日常生活上必要な機能訓練に重点を置き、さらにサービス向上に努める為、体操のプログラムも変更します!  
⇒詳細は次号でお伝えします!



### スタッフ紹介

佐藤陽子  
職種：看護師

#### コメント

利用者様の要望にお答えしながら、毎日が元気に楽しい1日にしていきます♪



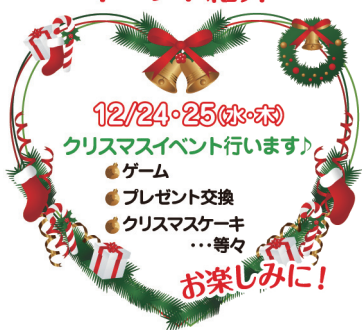
### 利用者様の声



K様

毎日の体操で、体の痛みがなくなりました!体操はやっぱり良いですね!!

### \*イベント紹介\*



### 小濱道博先生コラム

#### 2015年は介護報酬改定の年。早めの情報収集を。

来年4月は3年に一度の介護報酬改定の年です。その審議も終盤に入り、12月初めには方向性が確定。12月末〜1月中旬には新しい報酬単位が示されます。そのような既定路線の中で、今回は2つの想定外の事態が起こりました。

一つは財務省の横やりによる報酬6%減額の議論。

もう一つは、来年10月の消費税増税2%の延期と選挙です。

特に消費税増税2%の延期については、これを財源に介護職員処遇改善加算の延長と加算率アップが予定されていたため、影響が避けられないようです。財源不足を理由とした財務省主導の大幅な介護報酬カットも現実味を帯びてきました。これまでに示された介護報酬改定の方向性では、高齢者住宅への締め付け強化、外部からの訪問介護サービスで利用者20人以上の利用者が居る場合の同一建物減算の適用、デイサービスの小規模報酬の大規模減額、アイ利用で送迎の無い利用者への報酬減額、訪問介護の身体0算定の要件強化、デイケアの短期利用型への転換などが矢張り先に打ち出されて居ます。報酬アップが期待できるのは訪問看護くらいとなっています。予防サービスにおいては、予防にはレスパイトケアの概念は無いとの認識から、報酬の規準となる提供時間の短縮とそれに伴う報酬減額が行われそうです。予防サービスの報酬が規準となる市町村の総合事業の報酬への影響も懸念されます。早期の情報収集と対策が急務になっています。



小濱道博

小介護経営事務所代表  
NKK一般社団法人日本介護経営研究会 専務理事  
CSR一般社団法人介護経営研究会 専務理事  
一般社団法人介護事業協会 理事  
C-MAS介護事業経営研究会 顧問 ほか

曜日	メインプログラム	お勧めPoint	平均介護度	空き状況
月	お灸、書道	お灸の香りはリラックス効果も!	要介護2	要相談
火	麻雀、クラフト、 はっぴ〜イングリッシュ	クラフトでは、飾るもの、使えるもの などたくさん作っています	要介護1	2名
水	おやつ作り・ゲーム	季節の果物や野菜を使用したおやつ 作り挑戦しています!	要介護2	1名
木	座ってヨガ・麻雀・歌の時間	ヨガは呼吸を意識し全身をリラックス &デトックス!健康・美容に効果あり!	要介護2	2名
金	シアターカラオケ	リクエスト曲で、思い出話もたくさんです!	要介護1	2名
土	音楽療法	発声練習や楽器を使った歌など大好 評です!	要介護3	要相談

☎ 0422-28-5061 FAX 0422-28-5062

## 吉祥寺事業所



ボールレック☆  
毎週盛り上げていま  
す。チームワークもバ  
ンバんです!!



秋のもじり作り、皆様  
器用に作られました☆

曜日	メインプログラム	お勧めPoint	平均介護度	空き状況
月	書道・クラフト	自作の俳句なども楽しんでいます	要介護2	2名
火	書道教室・クラフト	人気の書道講師の活動です	要介護1	2名
水	はっぴ〜ミュージック・クラフト	季節に合わせたものを作ります!!	要介護2	要相談
木	クラフト・温泉の日	温泉好きな方におすすめです★	要介護2	2名
金	はっぴ〜ミュージック・クラフト	賑やかに楽しみたい方にお勧めです!	要介護1	1名
土	はっぴ〜ミュージック・クラフト	懐かしの名曲を楽しみます★	要介護2	要相談

☎ 042-386-6881 FAX 042-386-6882

## 新小金井事業所



クラフトフラワーでは、  
季節のお花で花束を  
作ります!色とりど  
り鮮やかです!



人気の書道の活動で  
す!自身で作った俳句  
を書かれる方もいつ  
しゃいます!

## 「当事者が語る時代に・・・」

フリーアナウンサー 町 亞聖

若年性認知症の当事者が立ち上げた団体が先日会見を開きました。

「その人らしく」や「尊厳を守る」いずれの言葉も主眼は介護をする側で、本当の意味での当事者の声ではありませんでした。認知症になっても共に暮らすために「経験している者にしか分からない切実な想いがようやく本人の言葉で語られる時代が来たのです。認知症になると「何も分からなくなる、何もできなくなる」と多くの方が誤解しているのではないのでしょうか。

例えば徘徊、暴力、暴言、妄想、不潔行為など認知症に伴う一連の行為は「問題行動」と言われています。でも考えてみてください。

「問題」と受け止めるのは介護する側で、本人は問題を起こそうと思っただけなのではないのです。昨日できたことが今日できなくなり、失敗を重ねることで本人は精神的に大きな不安と恐怖を感じています。そんな状況の中で周囲から注意されたり怒られたり、また押し付けられたりすることでさらに混乱してしまい「問題」とされる行動を起こしてしまうのです。また認知機能が衰えても感情は元のままです。冷静にして適切に対応するために認知症に伴いどんな行動があらわれるのかあらかじめ介護者が理解しておくことは当然のことではないでしょうか。

「普段使っていた母の手帳に家族の名前が書いてあり、何度も自分の名前をなぞった跡があった。認知症の母親を介護していた男性の取材で聞いたエピソードです。自分の名前さえ忘れてゆく恐怖。

どんな想いで自分の名前をなぞっていたのでしょうか。認知症の初期の段階では「自分自身が壊れていく」ということを本人は自覚していません。大切なのは「否定しない」「急かさない」ということだと専門家は指摘します。実は父の介護を通じて私はこの二つのことを学びました。母をそして亡くした後、悲しみにくれた父はよくに食事もせずにお酒ばかり飲んでいた。そして父が「ウェルニッケ・コルサコフ症候群」という聞いたこともない病気と診断されたのです。

この病気はアルコール依存と栄養失調が重なることで脳が萎縮してしまうもので、せん妄、錯乱、作話など一時は精神病院に入院しなければならぬほどの状態でした。せん妄と錯乱は次第に収まってきましたが、「作話」に促すは最期まで続いています。入院している父のお見舞いに行った時のこと、とても申し訳なさそうに「お姉ちゃんさん」と震りました。「どうしたの?」と聞くと「お姉ちゃんの名前で借金をしてしまつた」と言うのです。

当時、再度も麻痺していたので「外でもできない穴にそんなことが絶対に出来るわけはありせん。」「それはソでしょ」と否定するのですが作話はこの病気の大きな特徴、受け止めてあげてくださいと先生から教わっていたので「もう二度としないぞ」と諭すようにしました。恐ろしい間、私に経済的な負担をかけてきたことを申し訳ないと思っていた父の心の奥底にある想いがこの作話の元になつていないのかと思います。

「認知症になると誰かが必要なのは増えるが、決して“不要”にはならない。」会見に臨んだ若年性認知症の佐藤裕彦さんの言葉です。

佐藤さん達の勇気に応えるために、私も、そして認知症の方の「生きる力」や「生きる希望」を支えるために私の声に全員が耳を傾けて欲しいと思います。

認知症・認知症になるかもしれない予備軍を含めるとその人数は約800万人。会見をした佐藤さんは特別な存在ではないのです。誰もが認知症になる可能性がある中で、認知症と正面向き合うために「何があったらどうしよう」といって争うに不安を抱くのではなく認知症を知ることから始めてみませんか。



フリーアナウンサー 町 亞聖

小倉市のフリーアナウンサー・事務所 1995年に日本テレビのアナウンサーとして入局。その後、退職の経路を歩み、フリーアナウンサー・事務所を立ち上げる。現在は東京の郊外に在住して認知症の介護経験が20年以上ある。2011年にフリーアナウンサーとして、高齢者の必死の生活奮闘記を著してテレビ番組に出演。13年目の母。そして母と父を失ったことと向き合ったこと。17年経った。母を介護する経験から、認知症と介護をテーマとするコラムを執筆。

<プロフィール>

☆生年月日 6/6 東京都小平市11番10号 18歳 東京都小平市11番10号 18歳 東京都小平市11番10号 18歳  
☆交友関係 年齢 13歳〜18歳 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代  
☆活動内容 講演 執筆 出演 2015年 日本テレビ「認知症の介護」出演  
☆ウェブサイト 町アナウンサーのブログ「認知症を語り合う」



## 見学、お問合せは各事業所までお問合せ下さい。

吉祥寺事業所 ☎0422-28-5061 小金井事業所 ☎042-386-6881